

中央公民館だより

# そうぞうながと

発行 | 長門市中央公民館運営協議会 広報担当  
TEL | 0837-23-1181 FAX | 0837-22-3648

2月

2021年  
中央公民館広報紙  
No.162

## 「どんど焼き」伝統行事を大切に



### 向陽小児童が、願いを込めて!

～天まで届け、児童たちの願い～

向陽小学校の伝統行事である「どんど焼き」がグラウンドで実施されました。

お正月飾りや書初めが燃やされると、大きな歓声があがっていました。

長門市内の小学校でどんど焼きが継承されているのは、向陽小学校以外にはほとんどないそうです。

## 「コロナ禍において、 今こそ地域の絆（ゆかり）を！」

昨年に発生した、新型コロナウイルス感染症の流行が、いまだ終息が収まらない状況にあります。様々な情報が錯綜する中で、公民館も、当初の混乱からは落ち着きを取り戻しつつあります。

こうした状況において、公民館としてどんなことができるでしょうか。従来どおりの公民館活動のあり方そのものを、見直していく必要があります。

### 「公民館の新たな可能性を探る」

公民館は、地域の人との交流を大切にする活動が多く、三密防止のため行事の可否について大きな影響を受けていますが、コロナ禍であってもできることはあるはずで。

感染防止のための「新しい生活様式」を指針に、これからのような公民館活動が求められるのか、創意工夫を図る必要に迫られています。

## みんなの公民館を地域の力で

- 公民館は、活動団体等が「つどい」「つながる」「学び」を通じて、地域全体の生活を豊かにする目的があります。
- ① 誰もが立ち寄りたくなる地域に開かれた公民館
  - ② 自己の向上、学びを大切にする公民館
  - ③ 人づくり地域づくりに貢献できるリーダーが育つ公民館
  - ④ お互いの絆を大切に、人の温かさ心配りがにじむ公民館

## 地域のゲストティーチャーを招いて 「空手」「凧揚げ」を勉強

地域学校協働活動とは、学校と地域が一体となつて子どもたちの学びや成長を支える活動です。

1月21日（木）深川小学校に、深川地域で活動する各団体から講師を迎え、日本の伝統文化を学ぶため、日本文化クラブ11人が空手道を、野外活動クラブ16人が凧作り・凧揚げを体験。



どうじん凧の会 磯谷さんが講師



空手杖道スポーツ少年団 山下講師

## 句文集「山茶花」を発行

公民館で活動している「山茶花クラブ」が、『句文集・山茶花』（第10集）を発刊されました。



山茶花クラブは、昭和55年長門市高齢者大学俳句講座として発足。40年間活動を継続している。  
公民館ロビーに、句文集・山茶花を展示してあるので、ご鑑賞ください。

## 公民館活動団体の紹介

### 「日本習字書道の会」

毎週土曜日、午後1時15分から物産観光センター研修室で「日本習字書道の会」が活動。書道友達をめざすとともに、公民館活動の参加、季節行事等で交流をしています。現在、子ども11人・大人3人が、講師から添削やアドバイスを受けながら練習に励んでいます。

### 美文字をめざして、日々練習を」

手書き文字は、毎日の生活には欠かせないものです。パソコン時代にあっても、手書きをする場面は数多くあります。手書き文字の美しさは、その人の印象を良くして高評価を与えます。書道には、集中力を高め、心を整える時間を作りさらには、心穏やかなライフワークにつなげる効果があるそうです。

きれいな文字に挑戦したい方は、「日本習字書道の会」まで、お問い合わせください。



～心穏やかに集中して、課題を清書～



## 伝統行事を守り育てる 向陽小「どんど焼き」

1月14日(木)新春恒例行事となつている「どんど焼き」が、向陽小学校グラウンドで行われ、児童61人、向陽小運営協議会委員、地域住民、深川南第2消防団が参加しました。

児童を代表して、6年生の高松茉央さんが「どんど焼きは、お正月に飾った門松やしめ飾りなどを焼く行事です。年神様を空に送るという意味があり、平安時代から千年続いている伝統行事です。向陽校区のみなさんが健康に過ごせて、私たちがもっともつと勉強できるように、という願いが込められています」と、大きな声で説明しました。

**無病息災、五穀豊穡を願って**

岩本さん(4年)、「算数が好きになるようにお願いした。」上野さん(5年)、「煙が高く上がった。もつと字が上手になるといいなと思った。」と、感想を発表しました。



炎が高く上がると、歓声が大空に!



## 公民館ロビーを有効活用 新春を箏の調べで穏やかに

1月21日(木)長門市中央公民館ロビーで、「新春 箏ミニコンサート」が開催され、登録団体ストウリングス(堀田隆子代表)が、新春にふさわしい箏演奏を披露しました。

公民館では、ロビーのフリースペースを有効活用するため、様々なミニコンサートや展示会を開催しています。登録団体の学習発表の場として、地域住民が気軽に集い、さらには憩いの場として交流が深まることを期待しています。

**「箏」と「琴」の違いって何?**

日本古来の「琴」と中国伝来の「箏」は本来異なる楽器ですが、「箏」という字が常用漢字でなため「琴」という字が一般的に用いられるようになっていきます。

柱(じ)があるほうが「箏」ない方が「琴」。柱は、弦の下に立てて音程を変える可動式の小さな柱を言います。



和楽器演奏に、魅了されました



※自宅に使用していない箏がある方は、お譲りください。  
有効に活用したいと思います。  
連絡先⇒公民館(23-1181)

## 野菜ソムリエ、新食材の豆知識

こんにちは、野菜ソムリエの佐藤です。毎月、季節の旬の食材の食べ方や栄養のお話をお知らせしていきます。

**今月のおすすめの野菜は**

**「ほうれんそう」です。**



【特徴】年中出回りますが、冬〜春にかけてが旬です。寒に当たると甘く柔らかくなり、栄養も増えます。日本には江戸時代に東洋種(ギザギザ葉)が伝わり、伊達政宗も食したと言われています。

【栄養素】動脈硬化予防のビタミンA、風邪予防のビタミンC、ビタミンE、

【選び方】萎びていないもの、色が濃いものが良品です。茎が細いとえぐみが少なく食べやすいです。太いものは日持ちが良いので好んで選びます。根が赤いのは体内酵素を活性化するマンガンが豊富です。

【ワンポイント】切って冷凍すると栄養価も高まり便利です。ビタミンCは水や熱に弱いのでサツと料理しましょう。

私が目利きした野菜・果物が盛りだくさんのお店ができました。「Lalaフラン」フジ長門店の1階にあります。どうぞご来店下さいね。

【佐藤 頭吾】

ジュニア野菜ソムリエ  
趣味の世界の食べ歩きを

更新中



五辻地蔵尊 湊3区の交差点

まず、五辻地蔵尊の前に立つとこの地は道幅の異なる五つの道の交差点に位置する。  
五辻の道路の交差点自体が非常に珍しく昔の繁栄ぶりが推定される。

五辻地蔵尊の名前の由来も納得できる。  
湊三区の末永米穀店の角に建ち、高さ90センチばかりのコンクリート製基礎の上に安置されている。

五辻地蔵尊は、交通安全を祈願して祀ったともいわれる。

所在地 東深川湊3区末永博家角

造立年 昭和38年(一九六三)

像容 丸彫り座像 合掌

像高 30センチ

台座高 124センチ(二段)

刻銘

(台座正面) 昭和38年8月

五辻地蔵

末永吉蔵建立

明治10年生 当年88才

五辻交差点の撮影に苦労したが、建立者の生年と当年88才の刻銘が微笑ましく、おそらく米寿記念に造立したと推定される。  
この地の地蔵尊に対する深い敬愛を感じる瞬間であり楽しかったのを覚えている。

山口県地方史学会理事 藤井文則



五辻地蔵



五つの道の交差点 (南側から撮影)



五つの道の交差点 (東側から撮影)

我が家の宝子



こつばき あおい 小椿 彩生さん(3歳)北山区

小椿 賢太郎・愛美さんの長女として、平成29年6月17日に誕生。  
音楽に合わせて歌ったり踊ったりするのが大好きで、月2回のリトミックは毎回楽しみにしています。プリキュアが大好きで、ステッキで変身して遊んでいます。これからも元気いっぱいでお過ごしね。

今月のうた

山茶花クラブ

どの子にも幸多かれと福寿草

法話聴くひびく院主の大きくしゃみ

小袖振り赤いベベ着て初御空

長門短歌会

新年の青空の下ポール蹴る  
子の声近く大きく聞こゆ

病院のリハビリを終え帰り来て  
係わる人へ感謝のしきり

見上げればまるで枯木の小枝にも  
ほのかな紅の確かな蕾



長谷川典子

川村 雅春

佐貫 勝代

前田 由美

鹿嶋 誠

山下 映子

深川地区の人口

世帯数	6,041 (+1)
男性	5,908 (0)
女性	6,809 (-8)
計	12,717 (-8)

(R3年1月1日現在)

中央公民館2月の行事予定

- 2日(火)「家庭の日」クリアファイル配布(向陽小)
- 3日(水)青少年育成市民会議深川支部 支部長・副支部長会議
- 15日(月)「家庭の日」クリアファイル配布(深川小)
- 15日~3/7日 絵手紙作品展
- 10・24日(水)親子でリトミック
- 6・20日(土)キッズエクササイズ 3B体操

編集後記

「春はまだ遠いのかな」

四字熟語に、三寒四温がありません。▼寒い日が3日続いたのちに4日ほどは寒さが緩み温かい日が来るといって冬の天候のことで冬の季語にもなっています。▼また、だんだん暖かくなって春が近いという意味にも使うようです。▼日本の伝統行事でもある「節分」。今年は、例年より1日早い2月2日(火)が節分の日です。▼季節の変わり目に、邪気を払うための儀式でもあります。